



2026年3月期 第3四半期決算短信【日本基準】(非連結)

2026年2月10日

上場会社名 前澤給装工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6485 U R L <https://www.qso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本博司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 谷口陽一郎 TEL 03-3716-1512

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,119	—	2,180	—	2,367	—	2,241	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	109.11	—
2025年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2025年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2026年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	46,981	40,248	85.7
2025年3月期	45,150	39,001	86.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 40,248百万円 2025年3月期 39,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 21.00	円 銭 —	円 銭 36.00	円 銭 57.00
2026年3月期	—	30.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 2026年3月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 28円50銭 記念配当 1円50銭
3. 2026年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 28円50銭 記念配当 1円50銭

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	1.1	2,700	△15.1	2,920	△12.5	2,600	28.5	127.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	21,500,000株	2025年3月期	21,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,141,976株	2025年3月期	762,385株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	20,547,841株	2025年3月期 3Q	21,016,206株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想については添付資料のP. 3をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、2025年4月1日付けで当社の完全子会社であったＱＳＯインダストリアル株式会社を吸収合併したことに伴い、第1四半期会計期間より非連結決算へ移行いたしました。これにより、当第3四半期累計期間における四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調となりましたが、不安定な国際情勢、米国による通商政策の動向、物価の上昇、為替の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当社は、給水装置事業におきましては、水道事業体が発注する配水管布設替工事への、着実な当社製品の納入を継続して確保しつつ、あわせて耐震性や施工性に優れた製品の提案活動に注力いたしました。また、主要原材料である銅の価格や電気等のエネルギー費、輸送コスト等を注視し、適切に販売価格に反映させ収益の確保に努めてまいりました。

住宅・建築設備事業におきましては、人口減少や物価高騰に伴う新設住宅着工戸数の低下傾向が続いていくため、競争激化に起因した不採算取引の抑制に加え、暖房分野の販売強化、あわせて事業体制の効率化等に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は241億19百万円、営業利益は21億80百万円、経常利益は23億67百万円、四半期純利益は22億41百万円となりました。なお、参考情報として前第3四半期連結累計期間の数字と比較すると、売上高0.7%減少、営業利益11.0%減少、経常利益7.6%減少、四半期純利益は完全子会社であったＱＳＯインダストリアル株式会社の吸収合併に伴う特別利益の計上等により27.7%増加となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

〔給水装置事業〕

給水装置事業におきましては、適正な販売価格適用に向けた活動を継続しておりますが、資材価格や賃金の上昇等の影響が、水道事業体の発注する配水管布設替工事等へ及んでおり、あわせて新設の住宅需要も伸び悩みの状況となっております。また、中国子会社であった前澤給装（南昌）有限公司（2025年1月1日付で全持分を譲渡）の主要生産品の国内販売が当期は終了していることも減収要因となっております。収益面につきましては、主要原材料である銅価格が高騰しており、コスト面で厳しい事業環境となっております。これらの結果、当事業のセグメント売上高は127億41百万円、セグメント利益は38億58百万円となりました。なお、参考情報として前第3四半期連結累計期間の数字と比較すると、セグメント売上高は2.6%減少、セグメント利益は7.9%減少となりました。

〔住宅・建築設備事業〕

住宅・建築設備事業におきましては、新設住宅着工戸数が低下傾向に推移しておりますが、ガス会社向け暖房部材の販売が増加しております。収益面におきましては、暖房部材関連の販売効果や、販売価格改定効果はあるものの、全般的なコストは増加傾向にあります。これらの結果、当事業のセグメント売上高は94億1百万円、セグメント利益は15億89百万円となりました。なお、参考情報として前第3四半期連結累計期間の数字と比較すると、セグメント売上高は0.7%増加、セグメント利益は1.2%減少となりました。

〔商品販売事業〕

商品販売事業におきましては、住宅需要の低下傾向により樹脂商品の販売は低下いたしましたが、鋳鉄商品の販売が増加いたしました。これらの結果、当事業のセグメント売上高は19億76百万円、セグメント利益は2億44百万円となりました。なお、参考情報として前第3四半期連結累計期間の数字と比較すると、セグメント売上高は5.1%増加、セグメント利益は0.5%増加となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、469億81百万円となり、前事業年度末に比べ18億31百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が8億67百万円、受取手形が4億25百万円減少しましたが、売掛金が4億22百万円、電子記録債権が8億91百万円、有形固定資産が7億4百万円、投資有価証券が12億2百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、67億32百万円となり、前事業年度末に比べ5億84百万円増加しました。これは主に、買掛金が5億75百万円、未払法人税等が2億89百万円減少しましたが、電子記録債務が8億29百万円、繰延税金負債が5億72百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、402億48百万円となり、前事業年度末に比べ12億46百万円増加しました。これは主に、自己株式の取得により純資産が5億円減少しましたが、繰越利益剰余金が8億83百万円、その他有価証券評価差額金が8億68百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,834	8,967
受取手形	803	378
売掛金	3,627	4,050
電子記録債権	6,466	7,358
有価証券	200	—
商品及び製品	7,013	6,946
仕掛品	82	119
原材料及び貯蔵品	1,199	1,168
前払費用	84	95
その他	231	198
流動資産合計	29,544	29,282
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,865	1,777
構築物（純額）	28	38
機械及び装置（純額）	910	909
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	173	352
土地	4,484	4,439
建設仮勘定	238	890
有形固定資産合計	7,702	8,406
無形固定資産		
ソフトウェア	393	486
のれん	197	168
その他	1	1
無形固定資産合計	593	656
投資その他の資産		
投資有価証券	5,512	6,715
関係会社株式	6	—
従業員長期貸付金	3	3
破産更生債権等	—	1
長期前払費用	65	59
保険積立金	1,650	1,785
その他	74	74
貸倒引当金	△3	△5
投資その他の資産合計	7,310	8,635
固定資産合計	15,605	17,698
資産合計	45,150	46,981

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,653	2,078
電子記録債務	732	1,561
未払金	508	544
返金負債	11	156
未払費用	154	158
未払法人税等	539	249
預り金	20	169
前受収益	1	—
リース債務	1	1
賞与引当金	269	69
役員賞与引当金	40	22
流動負債合計	4,934	5,014
固定負債		
繰延税金負債	709	1,281
退職給付引当金	438	370
リース債務	5	4
その他	60	61
固定負債合計	1,213	1,718
負債合計	6,148	6,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金		
資本準備金	3,711	3,711
その他資本剰余金	4	—
資本剰余金合計	3,715	3,711
利益剰余金		
利益準備金	839	839
その他利益剰余金		
別途積立金	21,000	21,000
繰越利益剰余金	8,689	9,572
利益剰余金合計	30,529	31,412
自己株式		
△943	△1,443	
株主資本合計	36,660	37,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,341	3,210
評価・換算差額等合計	2,341	3,210
純資産合計	39,001	40,248
負債純資産合計	45,150	46,981

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
売上高	24,119
売上原価	16,938
売上総利益	7,180
販売費及び一般管理費	5,000
営業利益	2,180
営業外収益	
受取配当金	133
その他	57
営業外収益合計	190
営業外費用	
雑損失	3
営業外費用合計	3
経常利益	2,367
特別利益	
固定資産売却益	36
投資有価証券売却益	159
抱合せ株式消滅差益	543
特別利益合計	740
特別損失	
減損損失	4
固定資産除却損	26
特別損失合計	31
税引前四半期純利益	3,075
法人税、住民税及び事業税	651
法人税等調整額	182
法人税等合計	834
四半期純利益	2,241

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益 計算書 計上額 (注) 2
	給水装置事業	住宅・建築 設備事業	商品販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,741	9,401	1,976	24,119	—	24,119
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,741	9,401	1,976	24,119	—	24,119
セグメント利益	3,858	1,589	244	5,693	△3,512	2,180

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,512百万円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式400,000株の取得を行い、当第3四半期累計期間において自己株式が5億26百万円増加しています。

また、2025年7月24日の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式20,463株の処分を行い、当第3四半期累計期間において自己株式が25百万円減少しました。

この結果、当第3四半期会計期間末において自己株式が14億43百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間

(自 2025年4月1日

至 2025年12月31日)

減価償却費	527百万円
のれんの償却額	29